



創 立 1993年12月1日  
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500  
 ホテル日航成田  
 TEL/FAXL 0476-24-5044  
 例会場 ホテル日航成田内  
 TEL 0476-32-1144

# 成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ  
 ロータリーは機会の扉を開く

【 会長 ホルガー・クナーク 】

成田コスモポリタンRCターゲット  
 「機会をとらえ、Take an action!」

〔会長：藤崎 政弘〕

## 第 1287回 例会

令和2年7月22日（水）

### 《ガバナー公式訪問例会》



◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長

お持ちいただいた100周年記念の金の鐘で点鐘をしました。

◇ 国歌 斉唱 君が代

◇ ロータリーソング 奉仕の理想

◇ 四つのテストの歌



## ◇ お客様紹介



国際ロータリー第 2790 地区 2020-21 年度

ガバナー  
漆原 摂子 様

地区幹事長  
吉田 理愛 様

副ガバナー  
諸岡 靖彦 様



第 10 グループ

ガバナー補佐  
橋本 和治 様

ガバナー補佐幹事  
米井 重行 様

成田ロータリークラブ  
渡辺 孝 様

## ◇ ニコニコ BOX

- ・藤崎 政弘 会長 《漆原摂子ガバナー、本日は宜しくお願い致します。》
- ・青木 貞雄 会員 《漆原ガバナー、初の公式訪問に成田コスモポリタンロータリークラブを選んでいただき光栄です。ご活躍を祈念します。》
- ・高木 正尊 会員 《先週の金・土の2日間、保育園年長クラス園児のお泊り会を当初の予定通り実施できましたのでニコニコします。》

## ◇ 会長挨拶 藤崎 政弘 会長



会員の皆さん、こんにちは。本日は、ガバナー公式訪問例会として、勝浦ロータリークラブ所属、国際ロータリー第 2790 地区 漆原摂子ガバナーをお迎えしての公式訪問例会となります。漆原ガバナー、ようこそ成田コスモポリタンロータリークラブへお越しいただき有難うございます。このガバナー公式訪問は、地区内では先陣をきっての訪問が我がクラブという事で、クラブとしても弾みになりますし、大変光栄に思っております。また当地区初の女性ガバナー一年度に、クラブ会長職を務める事を感慨深く感じております。また、先程は役員懇談会有難うございました。本日はお手柔らかにお願いいたします。

本日同席いただいております、諸岡靖彦副ガバナー、昨年はガバナーお疲れ様でございました。第 10 グループ担当の橋本和治ガバナー補佐、2 週間前もお越しいただき、ありがとうございました。そ

して吉田理愛地区幹事長、地区の運営ご苦労様です。米井重行ガバナー補佐幹事も有難うございます。そして成田 RC より渡辺様お越しいただきました。ごゆっくりお過ごしください。どうぞ当クラブの「絆」と「友情」を味わって、感じていていただきたいと存じます。

また、本日新会員として高木信人さんにご入会いただきました。入会おめでとうございます。福田税理士事務所の福田稔さんの後継という事です。福田さんはこのクラブで大変愛された方です。私と同学年。ぜひ高木さんのご活躍を祈念申し上げます。早く馴染んでください。

当クラブは本日で 72 名の会員を以ってスタートします。千葉クラブに次ぐ会員数となりました。折角ですから今日は私のロータリー歴とロータリー感を簡単に述べさせていただきます。

私の入会は、このクラブが創設された翌年 1994 年 7 月で、推薦者は石川先輩と宮田先輩でありました。青年会議所を卒業するとすぐでしたので、有無を言わずでした。翌年度から地区 RYLA 委員会に出向させられ、当時は東金青年の家での 2 泊 3 日のセミナーの設営でした。その委員会やメンバーや事業はまさに JC 流であり、すぐにはまってしまい 9 年間出向し続け、最後の年に RYLA 委員長を務めさせていただきました。当時の主流派は、斉藤豊久さんという勝浦 RC 所属の方で、よくこき使われたことを大変うれしく感じております。やはり人とのつながりで、自分が育てられているという事を感じた期間でありました。それから 2005 年にコスモクラブを退会し、家族 5 人でアメリカに渡り 5 年間勉強をさせていただきました。2010 年の春ごろ帰国し、暇をしていた時に、滝澤先輩（当時会長）と神谷後輩（当時幹事）に誘われました。アメリカでの 5 年間は友人ができるわけでもないし、飲み会も頻繁にある訳でもないの、帰国したときには本当に人恋しく、人のやさしさに涙腺が緩むこともありました。そんな時に神谷幹事がふらっと訪ねてこられ、色々雑談をしました。ちなみに神谷会員は 2003 年に石川先輩と私藤崎の推薦でコスモに入会していただきました。その神谷幹事から「藤崎さん、もしロータリーに入りたかったら俺推薦しますよ！」とずいぶん上から目線で誘っていただきました。ダメ押しで、「少々難ありでも、俺幹事だから大丈夫ですよ！」と言われ、少し考える時間をいただきましたが、翌日には「よろしくお願いします」と伝え、2010 年 10 月にコスモに再入会をしました。おかげさまで、素晴らしい機会をまた与えていただき、神谷君には本当に感謝しております。

この会に属し、色々役割を経験させていただき、苦悩や葛藤や憤慨やら多々ありましたが、それにも勝る感激や幸福感や達成感、友情ややさしさに触れる事が出来たことは何よりの宝物であります。これからも、コスモの友情や絆を大切に継承していかなければならないと感じております。もし又コスモを退会して、再々入会が許されるのなら、コスモに入会したいと思いますので、誰か誘ってください。誰も誘ってくれない場合は、勝浦ロータリークラブへ入会させてください。よろしく願いいたします。

会員におかれましては、本日公式訪問例会とクラブ協議会の開催となり、通常の例会よりも 1 時間強オーバーしますが、貴重な例会となりますので、最後までご参加いただきたいと思っております。

以上会長挨拶といたします。有難うございました。

## ◇ 委員会報告

### ◎ 米山記念奨学会委員会 林 康博 副委員長

石川邦紘会員が米山記念奨学会へ 30 万円およびロータリー財団へ 1,000 ドルの寄付をされましたのでご報告致します。ありがとうございました。



## ◎ 職業奉仕委員会 澤田 順行 委員長

ペットボトルキャップの前期集計が、会員 8 名様で計 97 kg と加瀬会員 153 kg をあわせて 250 kg を換金しロータリー財団へ 3 万円を寄付致しました。本年度はこの 2 倍をめざして頑張りたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。



## ◇ 幹事報告 岩澤 弘 幹事

■回覧：無し

■例会案内：佐原香取 RC 例会のお知らせ

■その他：・8 月の第一例会はビューホテル様にて「コロナをぶっ飛ばせ！納

涼例会」です。8 月理事会は 7 月 29 日の例会後に行います。理事役員メンバーの方には後ほど、ご連絡を差し上げます。

・第 9 回成田市スポーツフェスティバルの中止が決定されました。

・本日、ホテル日航成田様のこの会場に大きいモニターが新設されております。ガバナー訪問例会がこけら落としとして、皆様に多数のご意見を出していただいて盛り上げる事をお願いしたいと思います。



## ◇ 新入会員認証式

高木信人会員の認証式が行われ、漆原ガバナーよりネームプレート、バッチの贈呈が行われました。

## ◇ 高木 信人 会員挨拶



初めまして、こんにちは。福田税理士事務所の高木と申します。前所長福田稔が生前、

また昨年の告別式において、皆様からご厚意、ご配慮を賜り、誠にありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。現在は福田稔の兄、福田雄二が所長として事業を継続させていただいております。この度、福田稔の遺志を受け継ぎ、成田コスモポリタンロータリークラブの活動にも参加させていただきたく、入会させていただきました。本来でしたら所長の福田雄二がお伺いさせていただく所ですが、諸事情により私が代理で出席させていただきます。分からない事ばかりですが、皆様におかれましてはご指導ご鞭撻のほどをよろしくをお願いいたします。



## ◇ ガバナー卓話 漆原 摂子 ガバナー



成田コスモポリタンロータリークラブの皆様こんにちは。本年度ガバナーを仰せつかっております、勝浦 RC 所属の漆原摂子と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。まずは成田コスモポリタンロータリークラブからは、私が無理を申しまして研修リーダーをお願い致しました青木貞雄パストガバナー、また藤崎現会長には副幹事長をお引き受けいただき、改めて御礼を申し上げます。また今年度は、地区委員にこちらのクラブから多くの会員をお出しいただきましたこと、ご配慮と思い嬉しい限りでございます。さて本日が私の公式訪問デビューでございます。加えて諸岡靖彦直前ガバナー/副

ガバナーまでおいでいただき、緊張しておりますが、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、7月13日付ガバナー及び2019-20年度地区戦略計画委員会よりクラブオールにて発信致しました「地区グループ再編成について」において、来年、2021年7月1日施行「RID2790新グループ構成」についてご案内しました。当地区会員数（7月末現在）は1997年の4,337名をpeakに減少に転じ、また地域差による会員増減等もあり、グループ間のクラブ数・会員数に大きな格差が生じている現状は、皆様ご存じのことと思います。斯かる会員数減少、グループ別クラブ・会員数格差の現状に鑑み、地区は、数年前より地区戦略計画委員会を中心に「地区グループ再編成」を検討して参りました。

2019-20年度諸岡DGは、地区戦略計画委員会の管轄下に、1) 地区リーダー育成会議（宇佐見 透 PDG）、及び 2) 地区グループ再編会議（青木 貞雄 PDG）を設置し、地区リーダー育成プログラム案の開発、並びにグループ数縮小、及びグループ間クラブ・会員数格差是正を図るグループ再編成案策定を求めました。

結果、地区グループ再編会議は、ロータリー章典で推奨されるガバナー補佐の担当クラブ数4～8の最大8クラブを平均値とするよう、ガバナー補佐の数、即ち、グループ数を10とする（82クラブ÷8≒10グループ）。また、ガバナー補佐の担当クラブ数公平化を通じた指導・管理強化、及びグループ間クラブ・会員数格差是正を目指し、更にグループ再編成にあたってはグループ間合併を優先して欲しいとのガバナー補佐会議における意見に配慮したが、グループ間クラブ数・会員数の格差是正に現グループの分割が必要な場合は、社会生活・経済圏、行政区域、地域面積と交通の利便性、クラブの親子関係等に出来るだけ配慮しながら再編成案を検討して参りました。そして2020年6月27日開催地区戦略計画委員会において、2021年7月1日施行で採択されました。この新グループ構成は、2019-20年度地区戦略計画委員会諸岡委員長より、7月4日開催「地区諮問委員会」で報告され、かつ、了承されたので、7月13日付「RID2790グループ再編成」をもって地区内クラブに通知を致しました次第です。皆様には何卒ご理解いただき、来年7月1日からの10グループによる新スタートへ向けご協力をお願い申し上げます。

さて、直近開催のRI理事会において、今年度の強調事項が3点発表になりました。

- 1、新型コロナパンデミックに対する奉仕活動に、積極的に取り組もうということ。
- 2、まずは現状の会員の維持。
- 3、このような状況下、オンラインツールを利用した会合（理事会や例会、委員会など）に慣れて、積極的に活用しましょうということ。ただし、オンラインに不慣れな会員さんを取り残すことのないようお願いします。機器の操作に不慣れな会員さんには、思いやりの心で丁寧に教えてあげていただきたいと思っております。

また、RI理事会とR財団管理委員会は、7つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。この図の真ん中の絵がそれを示しています。この環境の保全は、グローバル補助金によって実施される奉仕活動のひとつに加わります。この申請は来年、2021年7月1日からとなります。

改めてご紹介致します、今年度のRI会長であるホルガー・クナーク氏、ドイツからは初めてのRI会長です。大変長身で、鼻メガネがユニークです。新年度を迎えるにあたり、最新のビデオメッセージが届いておりますので、こちらをご覧ください。

さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしている」とコメントされました。なるほど日本の事情によく精通されているなどと思います。過去からの礎は職業奉仕、即ち自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、ひとつの定義と思えます。そしてロータリーのビジネス倫理や親睦や社会奉仕に対する価値観を共有できるような、若い

会員を引き入れ、活動することは、未来への基盤となると仰っていると理解します。

コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそR再生のとき、変革のときであると仰っています。コロナと共生し「新しい日常(ニューノーマル)」に適応することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。

またクナーク会長は、特にガバナーのクラブ公式訪問の際に次の4つを伝えるようにと強調されました。これは今年1月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレクトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際に、発表されたものです。その時はコロナがこのようなパンデミックになるとは誰も思いませんでしたので、内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、R I会長の指示でございますので、お話をさせていただきます。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。
2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。
3. 新会員を慎重に選びましょう。
4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

ひとつひとつを見てみましょう。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はローターアクトクラブの拡充が言われています。また衛星クラブの設立、そして現在のコロナ禍の状況下、Eクラブの設立も有効でしょう。このような活動は地域社会において、周囲により大きなインパクトを与え、賛同して参加したいと思う人が増える、すなわち参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか。この2つは、R Iの4つの行動計画に含まれております。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

これもここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために、退会を余儀なくされる会員も微増しております。有効なワクチンが出来るまでは、コロナと共生をせざるを得ません。そのような中だからこそ、各クラブは自分のクラブの現状を見つめ、5年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブの存続そして活性化を考えるべきです。会員一人一人がクラブの将来を真剣に考える、すなわち参加者のクラブへの積極的なかかわりを促すという、R Iの4つの行動計画の一つですが、これに繋がるのです。戦略計画委員会というものがないクラブでも、少なくとも理事会において、クラブの現在そして未来を考えていただきたいと思えます。

3. 新会員を慎重に選びましょう。

クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った会員を慎重に考え入会してもらい、そして入会したら一生涯ロータリーをやめないで続けていけるような配慮が大切だと仰っていました。即ち、既存の会員を大切にすることです。ロータリーは毎年、入会した人数とほぼ同数が、自然減も含め、退会している状況です。しかも現在はコロナ禍のため、会員のクラブ離れは平時より微増と思われまます。今一度クラブ内を見渡していただき、コロナ禍により事業継続が厳しく、退会を検討している会員には、規定審議会を経て柔軟性が導入された標準ロータリー定款への適応力を高め(これもR Iの4つの行動計画のひとつです)、会員身分や出席に関する例外を細則に適用し、クラブに留まっていただくことも一考です。諸岡直前ガバナーが提唱された3,333運動は目標としながら、まずは今の大切な仲間を失うことのないようお願いする次第です。

4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

こちらは、私たちが30年以上にわたり取り組んでまいりました、ポリオ根絶運動を周囲にお伝え

し、広く支援者・賛同者の輪を広げる目的です。世界ポリオデーは毎年10月24日ですが、去年は世界中で5600件以上のイベントが実施されました。現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2国ですが、コロナ禍のためにワクチン接種が従来通りに実施出来ず、発症者も微増、現在85名が罹患しています。一方これらの国では、今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを、現在はコロナ感染拡大の防止に利用してもらうことで、支援を続けています。つまりポリオ根絶のためのノウハウが、現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく、役立っているのです。RIの4つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトを与えているのです。10月のイベントについては、皆様の健康安全を第一に、ご無理のないようお願い致します。

それでは今年度地区活動方針についてご説明致します。4/29に配信しましたYouTubeでの地区研修協議会でもお話致しましたが、今年には日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」に戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをうたいたいと思います。

奉仕の理念、**The Ideal of Service**、つまりサービスという考え方、そしてこれをやさしく説明したのが、RI事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリーです。すなわち、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方です。そしてこれを実践するという事は、先程から話に出ております、RIの4つの行動計画のローテーションのスタートなのです。

他人のためになることをする、**The Ideal Of Service**の実践は、周囲により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々のRへの公共イメージ向上の結果、賛同し仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がります。多様な参加者のアイデアに丁寧に耳を傾け取り入れることで、その参加者はやりがいを感じ、ロータリアンとして、更に積極的にかかわってくれるでしょう。そしてクラブ内では親睦を育むと共に、研修を通してクラブの現状やロータリーの過去・現在を学び、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応出来るよう、適応力を高め、そして次の**The Ideal of Service**の実践に取り組むことでしょう。依然コロナ禍により通常のような行動がとりづらい状況ですが、このような時だからこそ、クラブが戦略計画をもって、この4つを繰り返し続けることで、数多くの機会の扉を次々と開いていくことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上拡大するのだと考えます。

クラブ会長様には、リーダーシップを発揮していただき、戦略計画を立案し、この4つの行動計画を展開することをお願い申し上げます。またクラブの委員長の皆様には、この図の中で、それぞれの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートが出来るかをお考えいただけますようお願い申し上げます。そしてクラブR財団委員会・米山記念奨学会委員会の委員長におかれましては、**The Ideal of Service**を実施するための寄付推進、ならびに「世界でよいことをするための」人材育成にご尽力をいただければと思っております。

さてこれまで、ロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや、適応力を高め柔軟に対応することや、多様性を受け入れましようとして申し上げて参りました。一方RIは、ロータリーの基本理念は不変であると言い続けています。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまり、ロータリアンは事業や専門職及び地域社会のリーダーであることに変わりはありません。ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。ロータリーの最も大きな特徴のひとつである「4つのテスト」及び5大奉仕部門に変更はありません。ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。

また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは、標準ロータリークラブ定款に違背しない限り、そのクラブの伝統や個性や地域性を鑑み、クラブ独自の細則を作ることができます。会員があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために、戦略計画（中長期的計画）をもって、世界でただ1つのクラブ細則を作ることが大切だと考えます。

さて、私たちロータリアンが目指すビジョン声明があります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指します。」これがロータリーのビジョン声明です。そして先程申しました、ロータリーが大切に守り続けている不変のものがあります。それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観などです。これを基盤に、これも先程お話ししました4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める、この4つを実践することで、ロータリーのビジョン声明の実現につながるものと信じております。

ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切にし、自分が周囲に役立つことをする」と捉えてはどうでしょうか。即ち、会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、Rの5大奉仕部門においてはその実践に役立つこと、そのような人格づくりが第一かと思えます。私自身としては、ロータリーって何？と問われたときに、「私自身です」と答えられるような、そんな人間を目指しています。

個人を確立し、クラブ活動に貢献することで、4つの行動計画即ち地域や世界にインパクトをもたらし、会員の基盤は広がり、親睦を通じて会員はより積極的に関わり、変化に呼応する適応力を高める。クラブはそのような人づくりの場と捉えております。自分を磨き、家庭や事業、地域や世界で、よいことをするための多くの扉を開いていただけますようお願い申し上げる次第です。ご清聴ありがとうございました。

◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長

## クラブ協議会 司会/進行：岩澤 弘 幹事

### 【1】クラブ戦略計画について 藤崎 政弘 会長

クラブ戦略計画委員会を本年度から新設させていただき、委員長を青木貞雄会員にお願いしました。青木会員は卓越した見識と、地区はもとより全国・世界に人脈をお持ちです。このクラブの永続的な発展に欠かせない、確固たる会員基盤と魅力的で活力あるクラブを目指すために、この委員会を設けました。

巷では、当クラブは親睦中心だからとか、地区への貢献が薄いとか、出席率が低いとか、地域社会への奉仕活動が弱いとか、クラブ内外から耳に入りますが、それがどうした？あるいはその通りだ！と。SWOT Analysis ではありませんが、クラブの強み弱みを言い合える環境がある事は素晴らしいと感じています。こういう環境があるからこそ「絆」と「友情」が育まれ、結束力のあるクラブになっているのだと感じています。強みを磨き、弱みを見つめ、そこから生まれるクラブとしての信念や理念を共有することで、クラブの発展に繋げていく事が、なによりも重要だと感じます。それがひ



いては第10グループの活性化、地区への貢献に結びつくだろうと考えます。本日は会員からの質問や意見等を頂ければ幸いです。

## 【2】クラブの利点と改善点

### ・神谷 修一 会員

私が10年前に幹事をやらせて頂いた時の会長が「辞めないロータリーを作ろう」という事だったので、そのままの流れで、退会者が少なく、入会者もそこそこいるといった状況を保っているのだと思います。その一因として、少し前は野球が強いことで若手の入会のきっかけになったり、ゴルフが好きなクラブなので、定期的なコンペ開催で人気が出ていたり、そういったことが会員維持の手段の一つではないかと思います。



### ・平野 伸一 会員

昨年入会させて頂きましたが、当クラブは会員を温かく迎えて下さり、親睦を大事にしている事で、我々世代もすごく参加しやすいクラブだなと思っております。

### ・宇都宮 高明 会員

世代的な横の繋がりがあるのではないかと思います。ギスギスするのではなく、その年代における地域のその世代のリーダーになる。或いはコアとしてやっていける力っていうのを持っているのではかと思えます。かといって、参加しにくいという事はなく、繋がりの中で温かみを持っていて大変いいと感じています。これからは、各自人材としてのいい所がありますので、世代面での繋がりを年に1~2回ほど持って、各世代間の力量を縦に繋いで総合的な力を持っていくと、当クラブの良さが出るのではないかと思います。

### ・青木 貞雄 会員

ロータリーの活動を通じて世界が広がり、自分自身も高められました。ロータリーで一番いいのは人間関係だと思っております。以前ガバナーをやらせて頂いたときにいろいろなクラブを回った際、ロータリーの事を一生懸命研究しているクラブや、奉仕活動に力を入れているクラブ、我々のように親睦を深めているクラブなどがあり、いずれもロータリーの活動としてはいいことだと思います。当クラブは親睦という意味ではどこにも負けないと思っておりますが、それだけがロータリーの活動ではないので、幅広くロータリーの活動をするという事が大事だと思っております。



### ・漆原 摂子 ガバナー

私共のクラブでも昨年ようやく戦略計画委員会を作りました。地区内のクラブで戦略計画委員会を設置しているクラブもあるのですが、委員会だけで話をして決定事項や方向性を会員と共有していないところが多いようです。先ほど会長から年末までに会員と共有されるとの話がありましたので安心しておりますが、今後も計画見直しの際なども改めて共有して頂き、会員との繋がりを必ず大事にしてください。クラブの利点・改善点につきましては、私のクラブは小さなクラブで、やはり大変親睦には力を入れております。私は楽しくなければロータリーじゃないと入会当時から言われております

ので、親睦活動は楽しく、まじめに奉仕をしましよとといった両方を忘れずにやっていく事が大事なのかと思います。こちらのクラブは何よりも辞める人が少ない、まさに RI 会長が言っている「今の会員を大事に。入ったら生涯ロータリアンでいてもらおう」ということをすでに実践されているので素晴らしいと思います。

### 【3】会員のロータリーモーメント発表

#### ☆国際奉仕（カンボジア訪問）について 戸村 正宏 会員

皆さんこんにちは。昨年度、私を含め 8 名でカンボジアに行つて参りました。結果から申しますと、非常に良かったです。お金だけ出すというのは簡単ですが、現地の人と触れ合い、支援している人の顔を見る事が出来たという事が一番良かったです。カンボジアの方も「寄付はいっぱいもらいますが、どんな人が下さっているのかわからない」とのことで、今までただお金だけもらっていたような感じだったけれど、今回私たちが行ったことでありがたみが違うのではないかという事をおっしゃっていましたので、直接訪問する事の大切さを改めて感じました。また、ウルルン滞在記に出てくるような、プライベートな旅行ではいけない所に行けたことが本当に希少な経験となりました。カンボジアは本当に楽しい所で、夜にメコン川沿いの屋台でお酒を飲んだりといった貴重な体験も出来ますので、機会があれば皆様にも行って頂きたいと思つております。

また、今回 50 万円の地区補助金を使つて行ったわけですが、藤崎会長の思いとしてグローバル補助金を使いたいということがございまして、カンボジアのロータリークラブの例会に行き、「ぜひ私たちと一緒に事業をやらないか」という事を英語でスピーチをしてコネクションを作つてきました。うまくいきましたらグローバル補助金も夢じゃないかなと思つております。



#### ・漆原 摂子 ガバナー

戸村様、お疲れさまでした。私のクラブでも数年前にスリランカの水事業でグローバル補助金を実施しました。私もスリランカのロータリークラブを訪問し事業をやりましたが、戸村様と同様に実際に行かなければ見えてこないこともありますし、行ったところで新しい出会い・友好関係を築くことができますし、なによりも現地の小学校に水の浄水設備を設置したとき、子供たちの輝かしい笑顔を見られたこと、それが私のロータリーモーメントです。困難を伴う事もあると思いますが、自分の所に戻つて来た時、それが次への奉仕や世界理解に繋がるのかと思つております。グローバル補助金成功を祈つております。

#### ☆奉仕の精神について 金井 浄 会員

私はあと 2 か月と少しで満 86 歳となります。皆さんより多少人生経験が長いと言うことで、この場に立たされたと思われます。さて、人間誰しも「良い人生を送りたい」と願っています。私が学生時代は食料も不足し、モノもない貧しい世の中でしたから、一生懸命勉強して良い学校に入り、一流会社に就職するというような限られた選択肢がありませんでした。しかし、今は豊かになり、情報も溢れかえつており「良い人生を送る選択肢」は限りなく広がっています。そのためにかえつて迷つてしまうことにもなります。忙しい日々を過ごしているビジネスパーソンとして「貴重な時間を割いて有意義な人生を送る」ためにはどうしたら良いか。一つの答えは「時の篩いかけられた先輩諸兄の貴重な体験」ではないでしょうか。ウィキペディアによれば、ロータリークラブは世界初の奉仕クラブ団体であるとされています。「奉仕の精



神」はロータリークラブの根幹をなしており、100年にも及んで世界のビジネスパーソンがその実践を行って有意義な人生経験としての有用性を認めてきています。「貴重な時間を割いてでも有意義な人生を送りたい」と願うならば、このロータリアン先輩諸兄の体験を味わってみるべきではないでしょうか。

・漆原 摂子 ガバナー

古きを知って新しく前に進んでいくという事は大切な事だと思います。この所 RI の方向というのは、団体ででっかいことをしよう、に走っている部分があると思うのですが、やはり先輩方から職業奉仕の理念、理念にとどまらず実践も学んでいく事が大切だと思っています。お金を集めて良いことをするという事も大切ですが、クラブの中で学べる奉仕の心というものを大切にすべきだと改めて思いました。

☆職業奉仕について 藤崎 康人 会長エレクト

今回改めて職業奉仕について調べてみました。歴史を紐解いてみましたら、1905年にロータリーを作った当初は職業奉仕という言葉はありませんでしたが、翌年に「自分たちの職業をもって社会に貢献する」という考えが入り、そこからロータリーの中で職業奉仕の概念が生まれたようです。ロータリーの職業奉仕に関する文献によると「高い倫理性をもって自分の職業に誇りをもち、それを社会のために貢献する」その結果基礎となる行動の中に4つのテストがあり、少し難しいのですが4つの行動規範というのがあり、その通りに仕事をする事によって社会のためになり、自分のためにもなるということです。なので、職業奉仕は社会のためにもなり、自分のためにもなるという事です。クラブとしては先ほどのカンボジアの件は国際奉仕ですが、各個人が外に向けた人づくりということを職業奉仕の一つという風に考えられると思います。私個人と致しましては、医者なので自分の仕事を病院でやることもそうですが、社会的に貢献するという事であれば、医師会の活動が無報酬でいろいろな会議に出ることなども職業奉仕に当たるのかと考えておりますが、一つ一つ高い倫理性を持って考えているかというとなかなかそこまでは考えが及ばないというのが自分なりの感想であります。



・漆原 摂子 ガバナー

いろいろな解釈のある職業奉仕ですが、基盤となるのは私たち一人一人が持っているスキル、それが職業だと思っています。それをあらゆるところで活かし、自分があらゆる場面で役立つようになるのがロータリアンであると思っております。

#### 【4】漆原摂子ガバナーへの質問

萩原 康宏 副幹事

**Q:** クラブをまたいだ横の繋がりなどあるかと思いますが、そういった中で参加したら面白かったというものがあれば教えてください。

**A:** 地区のゴルフコンペは年に数回ございます。また、地区親睦活動委員会から予算を頂き、女性交流会を作っております。女性ロータリアンやロータリーに入会しそうな女性を集めてお食事会などしております。

岩澤 弘 幹事

**Q:** 女性会員について、ガバナーのお考えを教えてください。

**A:** RI では女性会員を増やしましょうと言われていています。こちらのクラブではなかなかきっかけがないということでしたが、あるクラブからは「うちには女性会員は金輪際入れない」と私にはっきりおっしゃったクラブもございます。私はクラブが主役と言い続けておりまして、各地域やカラー・個性があっていいと思います。ただ、出来れば会員を増やそうと探している中でロータリアンに適切な人がいて、それがたまたま女性だったら、どうか女性だからという理由で断るのはご勘弁いただければと思っております。

藤崎 政弘 会長

私共はどちらかという女性会員は必要ないというのが大半の心の中にありそうな気がします。なかなかこの人になってもらいたいという女性が見つからないということもあります。いたとしても、1人2人ではなかなか本人たちも辛いでしょうし、何人かまとまって入って頂いた方が私たちもやり易いし、本人たちも長くして頂けるのではないかと思っておりますので、その辺は機会があれば検討していくのが課題だと思っております。

### 【5】漆原摂子ガバナー総評

皆さま長時間に渡りお付き合い頂きまして、本当にありがとうございます。今回が初めての公式訪問で卓話は本当に緊張いたしました。こちらのクラブには2年前の周年記念パーティーに参加させて頂いた時にとっても楽しく、親睦を大事にしているクラブだなとひしひしと感じ、うちのクラブと大きな共通点があるなと思っておりました。ですので、緊張はしましたが、皆様の温かさを重々存じ上げておりましたので、少しは気が楽になった中で行わせて頂きました。そして今日で72名になられたという事で、おめでとうございます。こちらのクラブが会員維持・増強されることを心よりお祈り申し上げまして、全体の講評とさせていただきます。

閉会の辞 藤崎 政弘 会長

長時間ありがとうございました。これから1年、一生懸命努めます。今日の公式訪問は立派な時間にさせて頂くことが出来ました。今後一年間こういった形でいろいろな対応をしながら皆さんと一緒に進めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。今日は一日ありがとうございました。

### ◇ 出席報告 \*メーキャップは前後2週間です。

	日付	会員数	免除	出席	欠席	M U	出席率	補正出席率
前々回修正	7月8日	71名	5名	37名	28名	2名		58.21%
本日例会	7月22日	72名	5名	48名	22名	2名	69.44%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022